

森林整備Ⅲ

現地実習（間伐等）

日時：平成23年11月5日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



◎森林整備Ⅲ

1. 林業労働災害と森林整備活動における安全

・労働災害

産業全体の死傷災害は、近年大きく減少したが、林業では微増。林業労働災害における死亡災害は主に、伐倒作業中に生じる。

・服装

安全の基本は服装を整えること。自分の身を守り快適に作業するため、正しい服装を心がける。

・危険を知ろう

①スズメバチ

巣に近づいたり刺激すると、集団で襲ってくるので注意が必要。刺されるとアレルギー反応（アナフィラキシーショック）によって死亡することがある。刺された場合は、抗ヒスタミン剤含有の軟膏を塗ったり、冷水で冷やす。または、ポイズンリムーバーで毒を吸い出す。発疹や悪寒等の症状が出た場合、速やかに病院へ行く。

②アシナガバチ

スズメバチと並んで被害の多いハチ。アナフィラキシーショックには要注意。応急方法はスズメバチと同様。

③マムシ

近づいたり刺激しない限り咬まれることはまずない。咬まれた場合は、速やかに病院へ行く。

④ケムシ類

ドクガやイラガなどの幼虫に触れると、炎症を起こし、痛みやかゆみ等の症状が出る。症状が出た場合は、患部を水で洗い流し、抗ヒスタミン剤含有の軟膏を塗る。

⑤ウルシ類

ツタウルシやヤマウルシなどは、触れるとひどくかぶれることがある。かぶれの症状が出た場合は、病院へ行く。

⑥ノイバラやススキの仲間

ノイバラの仲間はトゲのあるものが多いので注意する。また、ススキなどのイネ科植物では葉の縁で手を切ることがあるので注意する。

・鋸の基本的な使い方

①細い枝を切る

片手で鋸を、もう片方の手で対象物を支え、枝の根元から切る。

②引くときに力を入れる

引くときは力を入れ、押すときは力を抜き、リズムカルに動かす。

③木にかかる荷重と鋸の入れ方

荷重がかかっている方向から鋸を少し入れ、反対側から切るようにする。

・安全な作業

①伐木(木を切る前)

大声を出したり、笛を用いて周囲の人に木を伐ることを知らせる。

②伐木、造材、運搬(木を切る時、切った後)

木を切り倒す方向は、横方向がよい。伐木する木の受け口、追い口作業を正しく行うことが重要。伐倒の際は、かかり木に注意する。造材作業は、木が動かないよう固定して行う。運搬作業は、山側に立ち、一人もしくは二人で運ぶ。

2. 実習(人工林の整備)

受講生が2グループに分かれ、間伐作業を実践した。